

# 岩井やすのり県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

**放課後等デイサービス**  
**岩井議員** 放課後等デイサービス(以下「放課後デイ」)は、障害や発達に特性のある児童生徒が、放課後や夏休み等の長期休暇に利用できるもので、「障害児の学童」と呼ばれたりする。制度開始時比へ施設数

**悪質な放課後デイサービス施設「虐待・不正」確認求む**  
 は5倍に増えたが、営利を追求する参入が増え、杜撰な経営も問題となっている。北総地区のある放課後デイで①児童への暴言等の虐待②利用実績を超えた不正請求が行われていると聞いた。そこで何う。  
**通所児童への暴言等の虐待をなくし早期に事態の深刻化を防止するため県はどのように取り組んでいるのか。**  
**健康福祉部長** 放課後等デイでの虐待や被害を防ぐためには、未然防止、早期発見、早期対応、適切な支援が重要であることから、県では施設従事者等を対象に、支援や対応力の強化等に関する研修を実施し、資質の



9月県議会一般質問に登壇した岩井泰憲議員

**消防広域化への取組**  
**岩井議員** 私の地元・印旛郡栄町の消防本部は、管轄人口が2万弱の小規模本部のため、①出動要因に十分な余裕がなく、初動体制も必要最小限②原因調査や立入検査等の専門要員確保が困難—などの課題がある。県としても、改正法

**県立博物館 博物館法改正への対応**  
**岩井議員** 昭和61年に開館した「房総のむら」は、県内各地から出土した考古遺物や、武家屋敷・商家農家などを展示し、房総の伝統的

**9月県議会一般質問**  
**「房総のむら」拠点に活性化へ**  
 印西市・印旛郡栄町選出の岩井泰憲議員は、9月県議会一般質問に登壇し、「房総のむら」を拠点とした地域活性化や消防広域化、放課後デイサービス、保健所の対コロナ体制、道路問題など地域始め県内の課題を取り上げ、当局をたどりました。その概要を報告します。

性格様式や技術が体験できる県立博物館である。成田空港から近く、本県国際観光の目玉として大きな潜在能力を有している。  
 一方、改正博物館法が来年4月から施行され、地域との連携・協力により地域の活力向上に取り組むことが努力義務として明記されている。  
 房総のむらについては、これまで①園内でのイベント開催や開館時間の延長②飲食施設の設定—等の改善要望が出されていたが、教育施設との理由で議論が深まらなかった。そこで何う。  
**博物館法の部改正を踏まえ、今後、県はどのように対応していくのか。**  
**知事** 県としても、改正法

の趣旨を踏まえた取組を展開していく必要があります。このため、中央博物館では、房総の自然や歴史等の研究成果を活用した観光施設での出張展示について検討を始めるとともに、美術館でも、周辺施設との回遊性を

## 消防広域化 調査を実施

**消防広域化への取組**  
**岩井議員** 私地元・印旛郡栄町の消防本部は、管轄人口が2万弱の小規模本部のため、①出動要因に十分な余裕がなく、初動体制も必要最小限②原因調査や立入検査等の専門要員確保が困難—などの課題がある。県としても、改正法

り、日常はもとより大規模災害への対応に不安がある。そのような中、消防広域化は、課題改善への大きな手立てであると考えられるが、県は消防広域化にどう取り組んでいるのか。  
**知事** 災害が激甚化頻発化するなか消防の広域化は、災害対応力の強化に有効で

呼び込むため、県としてどう取り組んで行くのか。  
**スポーツ文化局長** 「房総のむら」は、成田空港に近接し、国内外から多くの方々を訪れる参加体験型の博物館であり、周辺地域の更なる活性化に向けた拠点としての役割を果たすことは重要だと考えております。  
 このため、より魅力ある施設になるよう、地元市町や観光事業者と連携して、夜

向上を図っています。また、施設には、弁護士等を派遣し、虐待防止策の検討や体制整備への助言を行うなど、課題解決に向けた取組を行っています。  
 さらに、虐待通報の窓口となる市町村職員に対する研修の実施や講演会等により、虐待の早期発見、早期対応を図っています。  
**虐待事案への早期対応により再発防止を図るといふ観点から、県**

**虐待事案の解決のため、関係自治体とより積極的に連携を図るよう要望する。**  
**岩井議員** 運営基準法違反、不正請求など事業者の不正事案について、県はどのように対応しているのか。  
**健康福祉部長** 不正が疑われる事案に対しては、必要に応じて事業所から報告を求め、入立検査などにより事実確認を行い、不適正な運営や過大請求等が確認された場合には、状況に応じ

て指導の実施や返還を求めるとの対応を行っています。が知りえた障害児通所施設での虐待事案解決のため、関係自治体とより積極的に連携を図るよう要望する。  
**また、県が知りえた不正請求や運営基準法違反を犯す障害児通所施設について、実地指導や立入検査などにより事実確認をより積極的に行うことを求める。**

間体験メニューを検討し、歴史的建造物や広い屋外空間を活用したコンサート・伝統芸能の公演など、様々な分野との連携によって、誘客の取組を二層充実させてまいります。  
**房総のむらを生かした地域活性化に向けて、引き続き、連絡を取り合いながら、地元自治体との協力を築いていきたい。**  
 広域化への機運醸成などに引き続き、地域の状況把握に努め、関係市町間の調整を図るとともに協議する場を設け、検討に必要な支援を行うなど県内における消防広域化の取組を進めてまいります。  
**印旛地域の消防広域化**  
**岩井議員** 印旛地域の消防広域化に今後、どのように取り組んで行くのか。  
**防災危機管理部長** 印旛地域には、小規模な消防本部が複数存在しており、昨年11月に、関係市町及び消防本部で構成する会議を設置し、消防広域化についての協議を始めました。  
 広域化の検討にあたり、現状の消防力分析や広域化による効果、少子高齢化や人口減少の影響などの課題について、関係市町間で認識を共有するため、調査を実施してまいります。  
 今後、その結果を踏まえ、具体的な消防広域化の検討を進めてまいります。

# 弾力的な保健所体制を

## 保健所内のコロナ体制

**岩井議員** 9月21日、習志野保健所を訪れ、①コロナ感染者の発生届受理②ハーシスやアムビスへの入力③特定感染者の健康観察1等の流れを視察した。

ただ、派遣職員数はピーク時と変わらず、時間を持て余す職員が見受けられて感心できなかった。

健康福祉部長 県では、対応業務の増大に応じて、各保健所における人材派遣を増員し、県職員等の応援を行ってきました。

状況を応じた人員体制の見直しを行い、支援を必要とする方々に適切に対応できる体制を整備してまいります。

保健所におけるコロナ業務の効率化を図る観点から、保健所ごとの発生届形式の実態について調査を実施するとともに、ハーシスによる届け出について理解と協力が広がるよう取り組むことを求める。

また保健所ごとの発生届受理者の紙での管理について、引き続き、より層の改善



自席から再質問する岩井泰憲議員

派遣及び応援については、業務の改善や感染状況に応じて随時見直しを行っており、感染者数の減少に伴い9月16日をもって県職員の応援を休止しました。

習志野保健所の昨年夏、習志野保健所の職員が倒れ、救急搬送された。明らかに公務中の発生にも関わらず、未だに公務災害が申請されていない。そこで要望する。

習志野保健所の事業を含め「コロナ業務案」を、必要な公務災害認定の未申請がないか調査し、今後このような事案が発生しないよう周知徹底すること。

北総地域の大型車規制 岩井議員 いわゆる北総規制という交通安全対策があり、これは北総地域の部の国道京道で、許可車両を除き大型車両の通行を禁止する規制である。

北総地域の部では、大型車通行規制が数多く存在するが、その経緯はどうか。警察本部 指摘の地域では、昭和40年代後半に大型貨物自動車通行に起因する交通事故や騒音振

# 北総地域の大型車対策も

## 交通安全対策

### 通学路対策の進捗状況

**岩井議員** 八街市での痛ましい事故の後、国の「緊急対策」及び本県の「緊急対策アクションプラン」(以下「プラン」)策定を通じ、通学路等での交通安全確保と飲酒運転根絶にあたることになっている。

歩道の新設、補修など、可能なものから実施しており、令和4年8月末までに586か所約97%が完了したと報告する。

残る信号機の歩車分離化、横断歩道の設置等の対策につきましても、可能な限り早期に進めていくほか、交通取締りや見守り活動等も継続して実施する方針です。

岩井議員 プランでは、可搬式速度違反自動取締装置(可搬式オービス)を追加配備することとし、これによつて本年8月末までの8か月間で前年比1494件増の4935件検挙されたと聞く。可搬式オービスの効果はどうか。

警察本部 可搬式オービスは、ここに設置されるか分からぬことによる速度抑制効果が期待できると考えております。また、取締り

# すでに97%が完了

## 通学路の交通安全対策

プランでは、通学路の合同点検を実施した上で、信号機の新設など道路環境の整備を図ることになっているが、進捗状況はどうか。

警察本部 通学路の合同点検の結果に基づき、県警が実施する606か所の対策については、信号機の新設、信号灯器のLED化や横断

歩道の新設、補修など、可能なものから実施しており、令和4年8月末までに586か所約97%が完了したと報告する。

残る信号機の歩車分離化、横断歩道の設置等の対策につきましても、可能な限り早期に進めていくほか、交通取締りや見守り活動等も継続して実施する方針です。

岩井議員 プランでは、可搬式速度違反自動取締装置(可搬式オービス)を追加配備することとし、これによつて本年8月末までの8か月間で前年比1494件増の4935件検挙されたと聞く。可搬式オービスの効果はどうか。

警察本部 可搬式オービスは、ここに設置されるか分からぬことによる速度抑制効果が期待できると考えております。また、取締り

## 地域の道路問題

**安食交差点改良の進捗** 岩井議員 印旛郡栄町にある国道365号安食交差点改良の進捗状況はどうか。 県土整備部長 国道365号安食交差点及び隣接する交差点は、右折レーンがなく、歩道も未整備であることから、安全で円滑な通行を確保するため、交差点改良と歩道整備を進めております。 これまでに約5割の用地を取得しており、今年度はこの用地を活用し、暫定的に歩道整備を行う予定です。引き続き、残る用地の取得を進めてまいります。

**可搬式オービスの効果** 岩井議員 プランでは、可搬式速度違反自動取締装置(可搬式オービス)を追加配備することとし、これによつて本年8月末までの8か月間で前年比1494件増の4935件検挙されたと聞く。可搬式オービスの効果はどうか。 警察本部 可搬式オービスは、ここに設置されるか分からぬことによる速度抑制効果が期待できると考えております。また、取締り

## 国道365号 安食交差点改良

**岩井議員** 県道鎌ヶ谷本整線バイパスは、印旛郡栄町から印西市萩原までの4.5kmで整備が進められ、栄町でも地方創生事業の行方を左右するとなると考える。足踏み状態となっているこのバイパスの進捗はどうか。 県土整備部長 これまでに用地取得を完了し、3kmに区間の工事が概成しており、現在、残る区間の道路改良工事や旧長門川を横断する函渠工事を実施しています。1日も早く供用できるような事業を進めてまいります。

## 50%の用地取得

**若草大橋延伸線の取組** 岩井議員 平成18年に開通した若草大橋は、印旛郡栄町と茨城県利根町を結ぶ利根川架橋の有料道路であり、周辺地域交流の促進を目的としているが、十分な利用効果が得られていない。原因は、本県側に幹線道路に結ぶルートがないことが考えられるが、若草大橋の延伸線の取組はどうか。 県土整備部長 県では、これまでに、周辺道路の交通状況などについて調査しており、本年2月には、交通状況や周辺道路の整備状況などについて、茨城県と意見交換したところです。引き続き調査を進め、計画の具体化に向け検討してまいります。

●印西市・栄町と県政のために

**岩井やすのり** 議事務所

〒270-1515 千葉県印旛郡栄町安食台2-26-23 大山ビル202  
TEL.0476-36-7799 FAX.0476-36-7802